



Newsletter

2024年3月号

注目のニュース



AIPPI - ASIPI 共催の知的財産と気候変動に関するウェビナーシリーズ

Judith Willert, Executive Director AIPPI

ウェビナーシリーズ「知的財産と気候変動」の第1回が、3月14日に開催されました。

2022年、2023年にASIPIと共同で開催した、遺伝資源・伝統的知識（GRTK）に関するウェビナーシリーズが好評をいただき、そのおかげで2024年も引き続きウェビナーシリーズを共催できることを、うれしく思います。昨年はIP & GRTK委員会の委員長 Martin Michausの優れたリーダーシップの下、複数の法域を取り上げた4件のウェビナーを、素晴らしい講師を迎えて開催することができました。

そして今年も、熱意あふれる Martin Michaus とともに AIPPI の IP & Sustainability 委員会と ASIPI VERDE のメンバーが協力して、4件のウェビナーのプログラムとテーマを準備しました。

今年のウェビナーシリーズの目的は、知的財産と気候変動が交わる重要な部分に関する、知識の共有と学習です。気候変動がもたらす影響や持続可能性の動向に関する認識と、イノベーションが気候変動に及ぼすプラスの影響、模倣品の製造／破壊による環境への影響について理解を深めます。

3月14日の第1回ウェビナーで講師を務めた Paola Andrea Romero Torres ならびに Erika Starost と、司会の María del Pilar López の多大な貢献に感謝します。内容としては、グリーン企業になる意義とその定義、その過程で知的財産が果たす不可欠の役割について掘り下げ、また、主要な企業を例に挙げて、持続可能なブランド、エンパワーメントのプロジェクト、企業と地球の両方へのメリットといったテーマを扱いました。

知的財産と気候変動に関する今後のウェビナーに興味を持っていただけましたか。開催予定は以下の通りです。

7月4日：グリーン技術に関する知的財産保護の動向

8月29日：イノベーションが気候変動に及ぼすプラスの影響

11月7日：持続可能な知的財産権の行使

年次活動報告の紹介：ブラジル部会

今年度も引き続き、各国・地域の部会から提出された **2023** 年の活動報告について、主なものを紹介してゆきます。今回はブラジル部会です。

活動報告では、各部会で行われたさまざまな活動（ミーティング、年次会合、ウェビナー、SNS でのキャンペーン等）が紹介されます。

[続きを読む](#)

2024 年 AIPPI 国際総会 - スポンサー募集のご案内

2024 年 AIPPI 杭州総会の[スポンサー案内](#)ができました。この世界的なイベントにおいて、御社にとって相応しい形でブランドの認知度を高めるチャンスです。杭州総会（10月19日～22日）にスポンサーとして参加し、御社のビジネスを新たな高みへと押し上げてください。

[続きを読む](#)



法制度・判例解説

インド

インドにおける電気通信部門のビジネスチャンス

Omkar Acharya and Priya Khamar, H K Acharya & Company, India

デジタル接続が普及し、技術が進歩を遂げているこの時代に、インドの電気通信業界は、コミュニケーション、データ送信、さらには 5G などの新たな技術を推進する上で重要な役割を果たしています。インド政府によるリベラルかつ改革路線の政策が、力強い消費者需要と相まって、電気通信部門を急速に成長させてきました。また、電気通信機器市場への容易な進出を可能にし、公正な規制の枠組みを先行的に実現することで、消費者が手頃な価格で電気通信サービスを利用できるようにしてきました。



そして、外国直接投資（FDI）基準の規制緩和によって、電気通信部門は、わが国において最も成長著しい部門の一つになり、かつ雇用機会創出においても上位 5 部門に入っています。インドは、インターネット利用者数では、世界第 2 位の市場です。

[続きを読む](#)

インド

特許を取得するか営業秘密として保護するかの微妙な境界

Manisha Singh & Virender Singh, LexOrbis, India

企業は通常、新たな商品やサービスを開発する一方で、商業的に実用可能な発明にも取り組んでいます。その際、発明を活用するために、どのように保護するかを考えておくのは重要です。発明の保護には、特許と営業秘密という 2 つの理想的な選択肢があり、それぞれに特有の要件と利点があります。



一般に特許と営業秘密は、代替可能な発明保護の手段と考えられていますが、イノベーションの初期段階では、両者を並行して使用することができます。したがって、複数の形態による知的財産保護が、発明を保護するための最善のソリューションであると考えられます。特

許は、発明やイノベーションを保護できるのに対し、営業秘密は、データ、顧客名簿、ソフトウェアや、その他の秘密にしておくべきものを保護することもできます。特許と営業秘密の主な違いは、それぞれが提供する知的財産権保護の性質にあります。

[続きを読む](#)

日本

最近の意匠法改正：新規性喪失の例外の適用を受けるための手続を緩和

青和特許法律事務所 中島勝



2023年6月14日に公布された意匠法の一部改正により、意匠出願時に、新規性喪失の例外規定の適用を受けるための手続が緩和されました。2024年1月1日以後の出願については、出願意匠と同一または類似の意匠を、出願日以前に複数回公開した場合でも、同一または類似の意匠の最先の開示について証明書を提出するだけで、例外の適用を受けられるようになりました。この改正により、意匠出願人の負担が大幅に軽減されるものと予想されます。

[続きを読む](#)

ミャンマー

大きな前進：工業意匠と著作権の登録出願が可能に

Yuwadee Thean-ngarm and Khin Yadanar Htay, Tilleke & Gibbins, Myanmar



ミャンマーにおいて、工業意匠については2024年2月1日から、著作権については2月9日から、登録出願が可能になったことは、歴史的な出来事です。この重要な進展は、商業省知的財産局（IPD）の通知2024年第1号と第4号で発表されました。これはミャンマーの知的財産制度全体にとって重要な前進であり、知的財産の登録・権利行使を管轄する新たな機関による、工業意匠および文学・芸術作品や関連



するその他の権利を保護するための枠組みが確立されます。

[続きを読む](#)

各国部会

中国部会

2024 年 ASEAN IPA 年次総会を支援する講師を任命

Chao Zhang, NTD Law Office, China

AIPPI 中国部会は ASEAN IPA の要請により、2024 年の ASEAN IPA 年次総会を支援するため、NTD 法律事務所の弁護士 Chao Zhang を、3 月 1 日・2 日にインドネシアのジャカルタで開催された総会のパネルディスカッションに、パネリストとして参加させました。



[続きを読む](#)

インド部会

インド部会主催の会議「IP Dynamics in the Digital Era」についての報告

AIPPI India

2024 年 1 月 9 日にベンガルールで開催した会議の内容をまとめました。

[続きを読む](#)

日本部会

英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 49, No.1)

AIPPI JAPAN 阿部正俊

日本部会の英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』の最新号 (Vol 49, No.1) が、お読みいただけるようになりました。今号の目次を載せたのでご覧ください。

[続きを読む](#)

A.I.P.P.I.	
Bimonthly Journal of International Association for the Protection of Intellectual Property of Japan (AIPPI JAPAN) Vol. 49 No. 1 2024	
CONTENTS	
ARTICLES	
Grand Panel Judgment of the Intellectual Property High Court on the Comment Delivery System Case concerning Cross-Border Patent Infringement Related to the Territoriality Principle and Client/Server System Production By IDA Kai	3
IP CASE SUMMARIES By AIPPI - JAPAN	24
FAMOUS TRADEMARKS IN JAPAN	35
INDEX - 2023	37
ADVERTISEMENTS	41
LIST OF CONTRIBUTORS	46
LIST OF ADVERTISERS	46

今後の行事

ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) 委員会ウェビナーのお知らせ

AIPPI

2024年4月15日の午後1時(中央欧州夏時間)から開催されるAIPPIウェビナーでは、ダイバーシティ(多様性)が、南北アメリカ、アフリカ、アジア、ヨーロッパにおいて、どのように理解、認識されているかについて学びます。ダイバーシティおよびインクルージョンに関連する主な概念と、過小評価グループの味方となって変化を促すため、知的財産の分野では個人として何ができるかについての実用的なヒントを講師が紹介します。



AIPPI 本部 D&I 委員会と一緒に、知識の幅を広げることができるチャンスです。非会員の参加もお待ちしています。

[参加登録する](#)

フランス - ドイツ - ポーランド - 3 部会共催セミナー

AIPPI France, Germany and Poland

AIPPI フランス部会、ドイツ部会、ポーランド部会による、知的財産関連の問題を扱う恒例のセミナーを、2024年4月18日・19日に、ワルシャワの Palac Staszica (Nowy Świat 72, 00-044 Warszawa) で開催します。

[参加登録する](#)



AIPPI 中米カリブ地域部会の年次総会

AIPPI Central America & Caribbean

AIPPI 中米カリブ地域部会の年次総会が、2024年5月31日、アンティグア（グアテマラ）の Hotel San Cayetano で開催されることになりました。伝統的知識、AI、無形資産等のテーマについて、世界各国から迎えた一流の講師陣にお話いただきます。

Early Bird の割引があるので、参加登録はお早めに。

[参加登録する](#)



©2022 AIPPI. All Rights Reserved.

<http://www.aippi.org/>

Toedistrasse 16, 8002 Zurich, Switzerland

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。